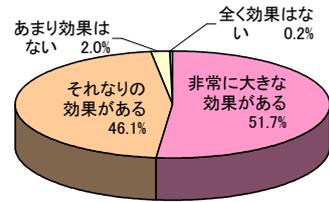


I 耕作放棄地の発生防止について

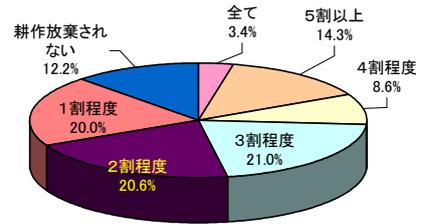
問1 中山間地域等直接支払制度は、耕作放棄地の増加を防止する効果があると思いますか。

	(協定数)	(割合)
① 非常に大きな効果がある	(308)	(51.7%)
② それなりの効果がある	(275)	(46.1%)
③ あまり効果はない	(12)	(2.0%)
④ 全く効果はない	(1)	(0.2%)



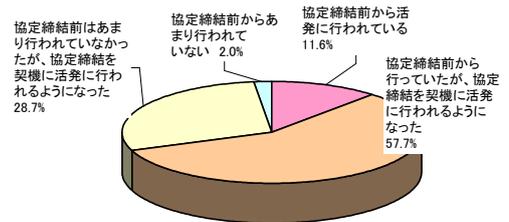
問2 本制度に取り組んでいなければ、当該協定農用地については平成17年度から平成21年度の5年間でどのくらいの農用地が耕作放棄されると思いますか。

	(協定数)	(割合)
① 全て	(20)	(3.4%)
② 5割以上	(85)	(14.3%)
③ 4割程度	(51)	(8.6%)
④ 3割程度	(125)	(21.0%)
⑤ 2割程度	(123)	(20.6%)
⑥ 1割程度	(119)	(20.0%)
⑦ 耕作放棄されない	(73)	(12.2%)



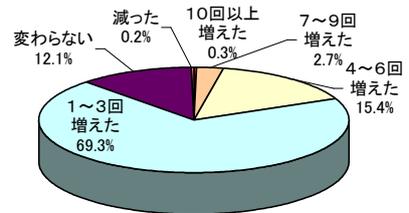
問3 集落全体での農地の法面や水路・農道等の管理に係る共同作業の状況について、協定締結前(平成16年度以前)と現在ではどのように変わりましたか。

	(協定数)	(割合)
① 協定締結前から活発に行われている	(69)	(11.6%)
② 協定締結前から行っていたが、協定締結を契機に活発に行われるようになった	(344)	(57.7%)
③ 協定締結前はあまり行われていなかったが、協定締結を契機に活発に行われるようになった	(171)	(28.7%)
④ 協定締結前からあまり行われていない	(12)	(2.0%)



問4 集落全体での農地の法面や水路・農道等の管理に係る共同作業の年間の回数は、協定締結前(平成16年度以前)と現在ではどのように変わりましたか。

	(協定数)	(割合)
① 10回以上増えた	(2)	(0.3%)
② 7~9回増えた	(16)	(2.7%)
③ 4~6回増えた	(92)	(15.4%)
④ 1~3回増えた	(413)	(69.3%)
⑤ 変わらない	(72)	(12.1%)
⑥ 減った	(1)	(0.2%)

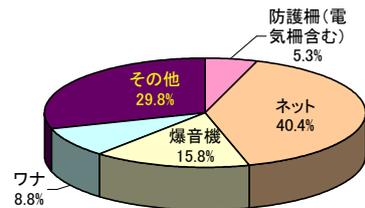


問5 鳥獣害対策で守られている当該協定農用地の面積はどれだけありますか。

313 ha

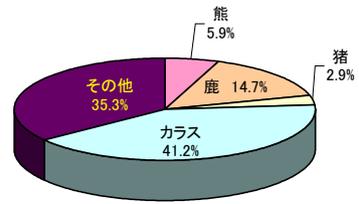
問6 鳥獣害対策の種類はどのようなものですか。(複数回答可)

	(協定数)	(割合)
① 防護柵(電気柵含む)	(3)	(5.3%)
② ネット	(23)	(40.4%)
③ 爆音機	(9)	(15.8%)
④ ワナ	(5)	(8.8%)
⑤ その他	(17)	(29.8%)



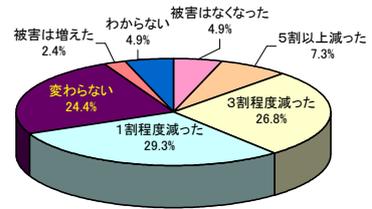
問7 鳥獣の種類はどのようなものですか。(複数回答可)

	(協定数)	(割合)
① 猿	(0)	(0.0%)
② 熊	(4)	(5.9%)
③ 鹿	(10)	(14.7%)
④ 猪	(2)	(2.9%)
⑤ カラス	(28)	(41.2%)
⑥ その他	(24)	(35.3%)



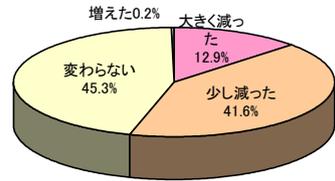
問8 鳥獣の当該協定農用地の被害面積は、協定締結前(平成16年度以前)と現在ではどのくらい変わりましたか。

	(協定数)	(割合)
① 被害はなくなった	(2)	(4.9%)
② 5割以上減った	(3)	(7.3%)
③ 3割程度減った	(11)	(26.8%)
④ 1割程度減った	(12)	(29.3%)
⑤ 変わらない	(10)	(24.4%)
⑥ 被害は増えた	(1)	(2.4%)
⑦ わからない	(2)	(4.9%)



問9 耕作放棄地等を発生源とする病害虫の被害は協定締結前(平成16年度以前)と現在では変わりましたか。

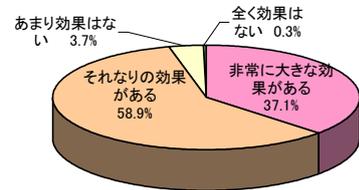
	(協定数)	(割合)
① 大きく減った	(77)	(12.9%)
② 少し減った	(248)	(41.6%)
③ 変わらない	(270)	(45.3%)
④ 増えた	(1)	(0.2%)



II 地域・集落の活性化について

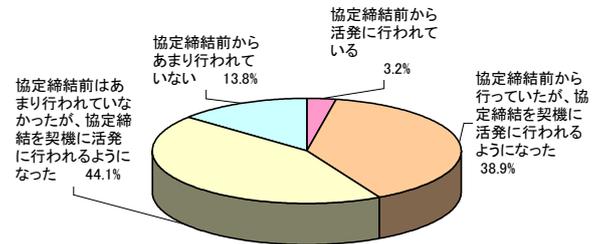
問10 本制度は、集落や地域の活動の維持・活性化を促す効果があると思いますか。

	(協定数)	(割合)
① 非常に大きな効果がある	(221)	(37.1%)
② それなりの効果がある	(351)	(58.9%)
③ あまり効果はない	(22)	(3.7%)
④ 全く効果はない	(2)	(0.3%)



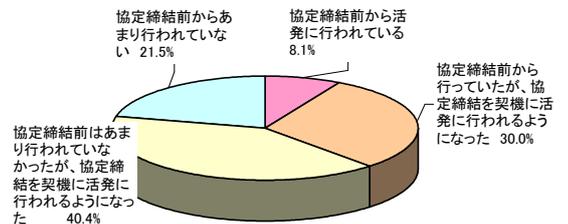
問11 集落の活性化や将来に向けた話し合いについて、協定締結前(平成16年度以前)と現在ではどのように変わりましたか。

	(協定数)	(割合)
① 協定締結前から活発に行われている	(19)	(3.2%)
② 協定締結前から行っていたが、協定締結を契機に活発に行われるようになった	(232)	(38.9%)
③ 協定締結前はあまり行われていなかったが、協定締結を契機に活発に行われるようになった	(263)	(44.1%)
④ 協定締結前からあまり行われていない	(82)	(13.8%)



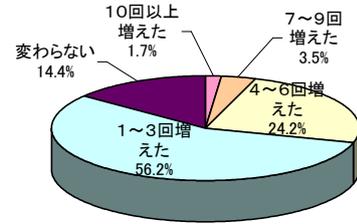
問12 共同作業、機械等の共同利用、作業の受委託等の農業に関する取り決め事項の話し合いについて、協定締結前(平成16年度以前)と現在ではどのように変わりましたか。

	(協定数)	(割合)
① 協定締結前から活発に行われている	(48)	(8.1%)
② 協定締結前から行っていたが、協定締結を契機に活発に行われるようになった	(179)	(30.0%)
③ 協定締結前はあまり行われていなかったが、協定締結を契機に活発に行われるようになった	(241)	(40.4%)
④ 協定締結前からあまり行われていない	(128)	(21.5%)



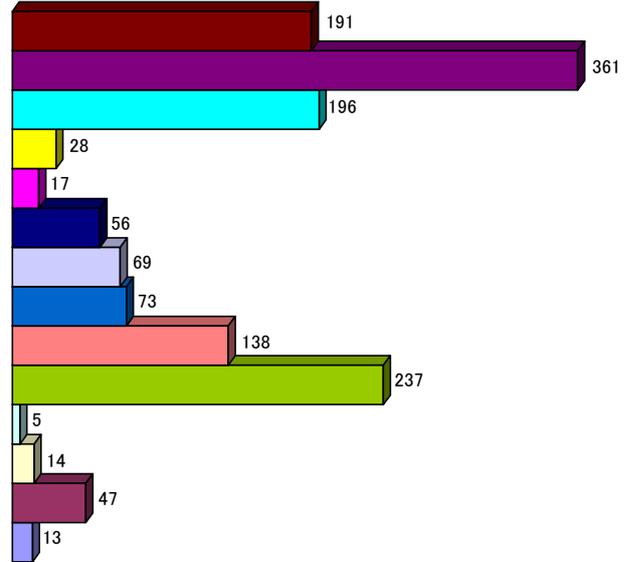
問13 話し合いの年間の回数は、協定締結前(平成16年度以前)と現在では変わりましたか。

	(協定数)	(割合)
① 10回以上増えた	(10)	(1.7%)
② 7~9回増えた	(21)	(3.5%)
③ 4~6回増えた	(144)	(24.2%)
④ 1~3回増えた	(335)	(56.2%)
⑤ 変わらない	(86)	(14.4%)
⑥ 減った	(0)	(0.0%)



問14 話し合いがきっかけになり協定締結前(平成16年度以前)と現在で何が変わったと感じますか。(複数回答可)

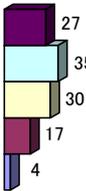
	(協定数)	(割合)
① 住民との繋がりが深まった	(191)	(32.0%)
② 集落活動に対する住民の意識が高まった	(361)	(60.6%)
③ 農作業の共同化の取り組みが始まった(又は活性化した)	(196)	(32.9%)
④ 高付加価値農業の取り組みが始まった(又は活性化した)	(28)	(4.7%)
⑤ 新規就農者の確保に向けた取り組みが始まった(又は活性化した)	(17)	(2.9%)
⑥ 認定農業者の育成に向けた取り組みが始まった(又は活性化した)	(56)	(9.4%)
⑦ 担い手への農地集積や作業委託への取り組みが始まった(又は活性化した)	(69)	(11.6%)
⑧ 景観作物の作付等により集落の景観がよくなった	(73)	(12.2%)
⑨ 伝統芸能や祭り等、集落のイベントが復活した(又は活性化した)	(138)	(23.2%)
⑩ 他の集落等との共同の取り組みが始まった(又は活性化した)	(237)	(39.8%)
⑪ 都市住民等との交流活動が始まった(又は活性化した)	(5)	(0.8%)
⑫ 自然生態系の保全等学校等教育機関との連携、NPO法人等と連携した活動が始まった(活性化した)	(14)	(2.3%)
⑬ 地場産農林水産物の直売・加工・販売が始まった(又は活性化した)	(47)	(7.9%)
⑭ その他	(13)	(2.2%)



14-1 問14で⑩と答えた方は、他の集落等との共同の取組が始まったことによりどのような効果があったと感じますか。(複数回答可)

	(協定数)	(割合)
① 農業作業を共同でできるようになった	(27)	(4.5%)
② 集落間の交流が増えた	(35)	(5.9%)
③ 相互で助け合うようになった	(30)	(5.0%)
④ 協定を統合をしようという気持ちが芽生えた	(17)	(2.9%)
⑤ その他	(4)	(0.7%)

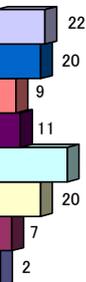
・カメムシ、農業防除他  
 ・集落営農組合設立  
 ・協定内外の水路の整備を合理的に行えるようになった。  
 ・伝統芸能や祭等集落イベントの開催



14-2 問14で⑬と答えた方にお聞きします。地場産農林水産物の直売・加工・販売が始まったことによりどのような効果があったと感じますか。(複数回答可)

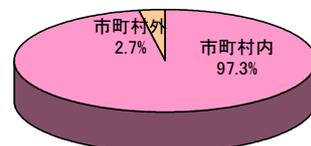
	(協定数)	(割合)
① 農業所得が増えた	(22)	(3.7%)
② 新規作物が導入された	(20)	(3.4%)
③ 作物の生産量が増えた	(9)	(1.5%)
④ 高齢者の意欲が向上した	(11)	(1.8%)
⑤ 女性の意欲が向上した	(32)	(5.4%)
⑥ 耕作放棄地の活用が促進された	(20)	(3.4%)
⑦ 集落への来訪者が増えた	(7)	(1.2%)
⑧ その他	(2)	(0.3%)

・今後の活動についての課題が出てきた



問15 交付金のうち共同取組活動分については、共同機械や資材の購入費あるいは共同作業の出役費等として使用されていると思いますが、主に当該市町村で購入したり支払いされていますか。

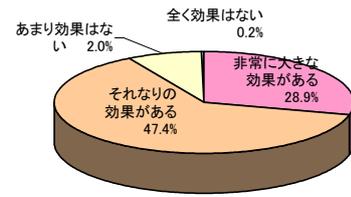
	(協定数)	(割合)
① 市町村内	(579)	(97.3%)
② 市町村外	(16)	(2.7%)



### Ⅲ 多面的機能の維持について

問16 本制度は、国土保全や保健休養機能等の多面的機能の発揮の役割を維持保全する効果があると思いますか。

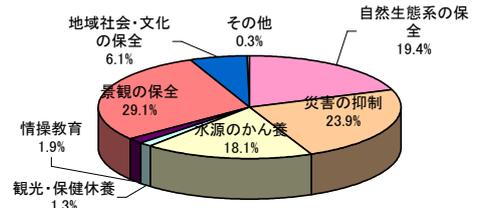
	(協定数)	(割合)
① 非常に大きな効果がある	(172)	(28.9%)
② それなりの効果がある	(375)	(62.9%)
③ あまり効果はない	(47)	(7.9%)
④ 全く効果はない	(2)	(0.3%)



16-1 問16で①または②と答えた方は、国土保全や保健休養機能等の多面的機能の増進または発揮の取り組みを通じて

どのような効果があったと感じますか。(複数回答可)

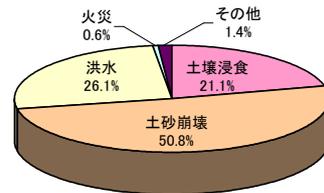
	(協定数)	(割合)
① 自然生態系の保全	(225)	(19.4%)
② 災害の抑制	(277)	(23.9%)
③ 水源のかん養	(210)	(18.1%)
④ 観光・保健休養	(15)	(1.3%)
⑤ 情操教育	(22)	(1.9%)
⑥ 景観の保全	(337)	(29.1%)
⑦ 地域社会・文化の保全	(71)	(6.1%)
⑧ その他	(3)	(0.3%)



上流の雑草の抑制、地域の連帯と地域活動の活性化、法面保護

16-2 問16-1で②で、災害の抑制とは具体的にどのような災害が防止されていると思いますか。

	(協定数)	(割合)
① 土壌浸食	(75)	(21.1%)
② 土砂崩壊	(181)	(50.8%)
③ 洪水	(93)	(26.1%)
④ 火災	(2)	(0.6%)
⑤ その他	(5)	(1.4%)

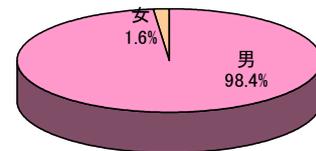


沢水流入による田畑冠水

### Ⅳ 前対策との比較

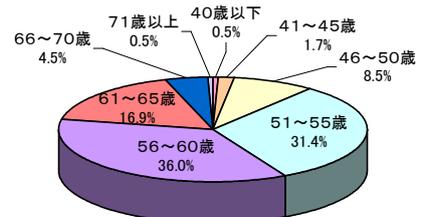
問17 協定の役員の方は何名で、うち女性は何名含まれていますか。

	(人数)	(割合)
男	(3,561)	(98.4%)
女	(58)	(1.6%)
計	(3,619)	



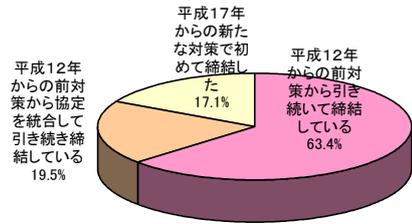
問18 協定の役員の方の現在の平均年齢は何歳ですか。(概ねで結構です)

	(協定数)	(割合)
① 40歳以下	(3)	(0.5%)
② 41～45歳	(10)	(1.7%)
③ 46～50歳	(51)	(8.5%)
④ 51～55歳	(188)	(31.4%)
⑤ 56～60歳	(215)	(36.0%)
⑥ 61～65歳	(101)	(16.9%)
⑦ 66～70歳	(27)	(4.5%)
⑧ 71歳以上	(3)	(0.5%)



問19 協定は前対策から引き続いて締結しましたか。

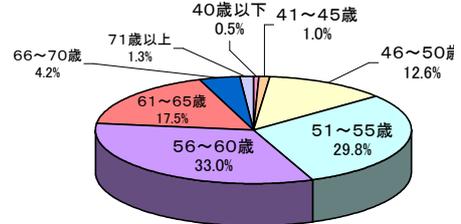
	(協定数)	(割合)
① 平成12年からの前対策から引き続いて締結している	(378)	(63.4%)
② 平成12年からの前対策から協定を統合して引き続き締結している	(116)	(19.5%)
③ 平成17年からの新たな対策で初めて締結した	(102)	(17.1%)



19-1 【問19で①と答えた方にお聞きします。】

前対策の時の協定の役員の方の現在の平均年齢は何歳ですか。(概ねで結構です)

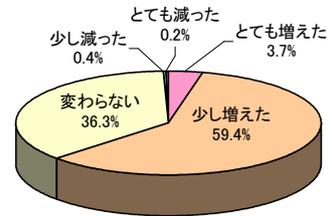
	(協定数)	(割合)
① 40歳以下	(2)	(0.5%)
② 41～45歳	(4)	(1.0%)
③ 46～50歳	(48)	(12.6%)
④ 51～55歳	(114)	(29.8%)
⑤ 56～60歳	(126)	(33.0%)
⑥ 61～65歳	(67)	(17.5%)
⑦ 66～70歳	(16)	(4.2%)
⑧ 71歳以上	(5)	(1.3%)



19-2 【問19で①または②と答えた方にお聞きします。】

前対策から新たな対策になり集落内の話し合いの議題(テーマ)の数は変わりましたか。

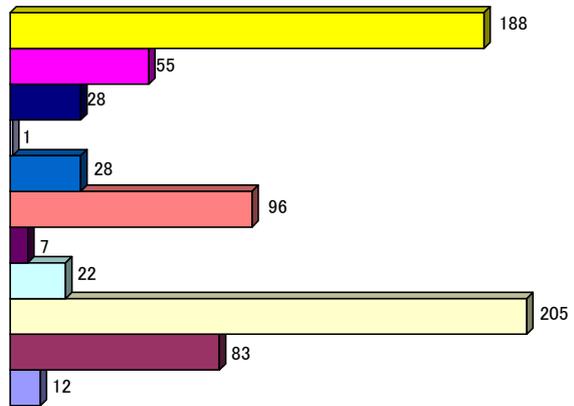
	(協定数)	(割合)
① とても増えた	(18)	(3.7%)
② 少し増えた	(293)	(59.4%)
③ 変わらない	(179)	(36.3%)
④ 少し減った	(2)	(0.4%)
⑤ とても減った	(1)	(0.2%)



19-3【問19で①または②と答えた方】

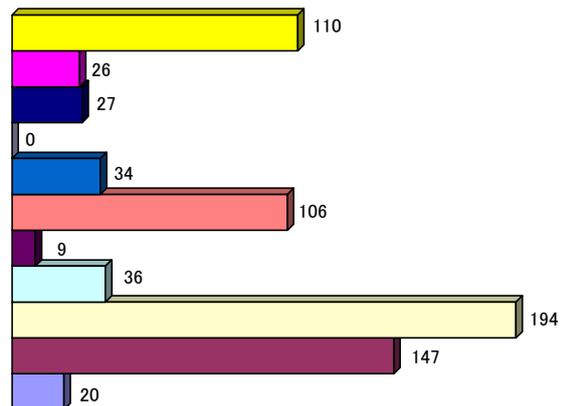
新たな対策によって協定締結前(平成11年度以前)と比べて集落がどのように変わったと感じますか。(複数回答可)

	(協定数)	(割合)
① 農業者の意欲が向上した	(188)	(31.5%)
② 農業所得が増えた	(55)	(9.2%)
③ 後継者ができた	(28)	(4.7%)
④ 集落の人口が増えた	(1)	(0.2%)
⑤ 女性の活動が活発になった	(28)	(4.7%)
⑥ 高齢者の活動が活発になった	(96)	(16.1%)
⑦ 子供の活動が活発になった	(7)	(1.2%)
⑧ 祭り等の地域活動が復活、開催回数が増えた	(22)	(3.7%)
⑨ 寄合いの回数が増えた	(205)	(34.4%)
⑩ 変わらない	(83)	(13.9%)
⑪ その他	(12)	(2.0%)

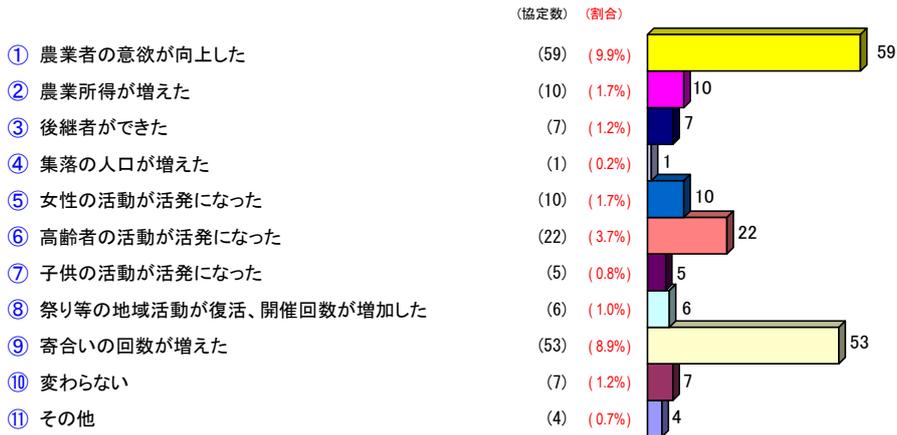


新たな対策によって協定締結前(平成16年度以前)と比べて集落がどのように変わったと感じますか。(複数回答可)

	(協定数)	(割合)
① 農業者の意欲が向上した	(110)	(18.5%)
② 農業所得が増えた	(26)	(4.4%)
③ 後継者ができた	(27)	(4.5%)
④ 集落の人口が増えた	(0)	(0.0%)
⑤ 女性の活動が活発になった	(34)	(5.7%)
⑥ 高齢者の活動が活発になった	(106)	(17.8%)
⑦ 子供の活動が活発になった	(9)	(1.5%)
⑧ 祭り等の地域活動が復活、開催回数が増えた	(36)	(6.0%)
⑨ 寄合いの回数が増えた	(194)	(32.6%)
⑩ 変わらない	(147)	(24.7%)
⑪ その他	(20)	(3.4%)

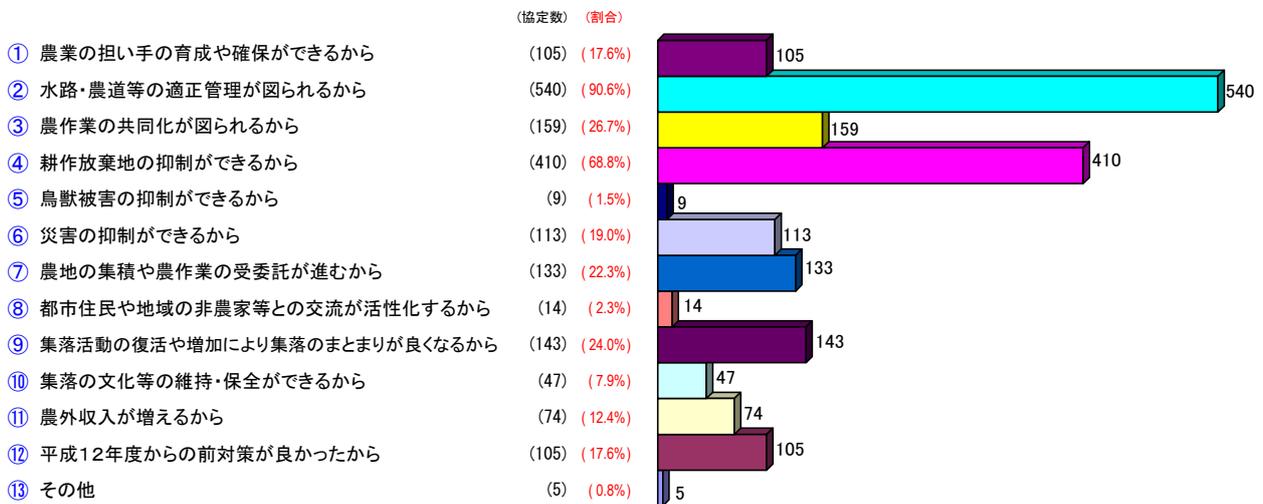


19-4 【問19で③と答えた方にお聞きします。】協定締結前と何が変わったと感じますか。(複数回答可)



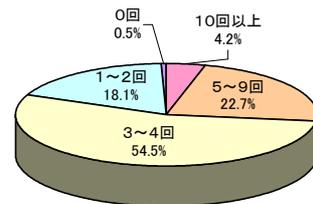
V 協定締結に至るまでの過程について

問20 新対策期間において協定締結した理由(目的)を教えてください。(複数回答可)



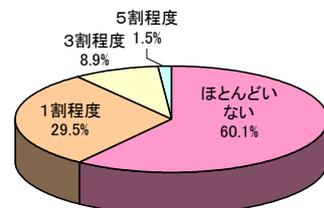
問21 協定締結に至るまでに、話し合いは延べ何回位行われましたか。

回答	協定数	割合
① 10回以上	25	4.2%
② 5~9回	135	22.7%
③ 3~4回	325	54.5%
④ 1~2回	108	18.1%
⑤ 0回	3	0.5%



21-1 話し合いに女性の参加割合はどれくらいですか。

回答	協定数	割合
① ほとんどいない	358	60.1%
② 1割程度	176	29.5%
③ 3割程度	53	8.9%
④ 5割程度	9	1.5%

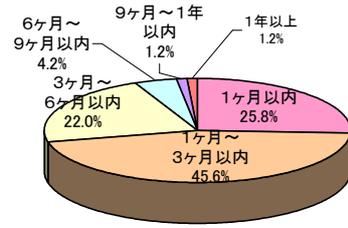


問22 協定参加者のうち女性は何名いますか。

721名

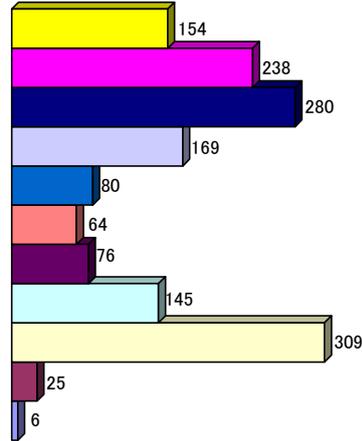
問23 協定締結に至るまでに、話し合いはどの位の期間行われましたか。

	(協定数)	(割合)
① 1ヶ月以内	(154)	(25.8%)
② 1ヶ月～3ヶ月以内	(272)	(45.6%)
③ 3ヶ月～6ヶ月以内	(131)	(22.0%)
④ 6ヶ月～9ヶ月以内	(25)	(4.2%)
⑤ 9ヶ月～1年以内	(7)	(1.2%)
⑥ 1年以上	(7)	(1.2%)



問24 あなたの集落では、協定締結に向けて主に何が課題となりましたか。(複数回答可)

	(協定数)	(割合)
① リーダーの選出	(154)	(25.8%)
② 5年間の継続	(238)	(39.9%)
③ 交付要件の遵守	(280)	(47.0%)
④ 集落の将来像	(169)	(28.4%)
⑤ 話し合いのとりまとめ	(80)	(13.4%)
⑥ 対象農用地と非対象農用地が混在すること	(64)	(10.7%)
⑦ 集落内に交付金をもらえる人ともらえない人がいること	(76)	(12.8%)
⑧ 交付金の共同取組活動費と個人への配分をどうするか	(145)	(24.3%)
⑨ 共同取組活動の内容をどうするか	(309)	(51.8%)
⑩ 特になし	(25)	(4.2%)
⑪ その他	(6)	(1.0%)

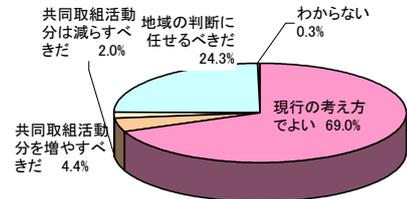


VI その他

問25 本制度においては、交付金の交付額の概ね1/2以上を集落の共同取組活動に充てることが望ましいとされていますが、

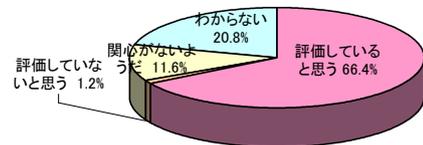
このことについてどのように考えますか。

	(協定数)	(割合)
① 現行の考え方でよい	(411)	(69.0%)
② 共同取組活動分を増やすべきだ	(26)	(4.4%)
③ 共同取組活動分は減らすべきだ	(12)	(2.0%)
④ 地域の判断に任せるべきだ	(145)	(24.3%)
⑤ わからない	(2)	(0.3%)



問26 協定に参加していない周辺住民の方は、あなたの集落のさまざまな活動を見てどのように感じていると思いますか。

	(協定数)	(割合)
① 評価していると思う	(395)	(66.4%)
② 評価していないと思う	(7)	(1.2%)
③ 関心がないようだ	(69)	(11.6%)
④ わからない	(124)	(20.8%)



問27 本制度の実施期間は平成21年度までとなっていますが、平成22年度以降についてどのように考えますか。

	(協定数)	(割合)
① 強く継続を望む	(371)	(62.2%)
② できれば継続を望む	(159)	(26.7%)
③ 廃止してもよい	(14)	(2.3%)
④ どちらでもよい	(34)	(5.7%)
⑤ わからない	(18)	(3.0%)

